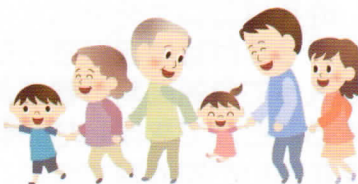




第50号

# 木曾川町連区



# 地域づくり協議会だより

【発行日】令和4年1月1日 【発行者】木曾川町連区地域づくり協議会  
〒木曾川町内割田一の通り27(一宮市木曾川庁舎内) ☎84-0005  
【メールアドレス】k-chiiki@orihime.ne.jp  
【ホームページ】http://138kisogawa.org 木曾川町連区で検索してね♪



## 新年のご挨拶

木曾川町連区地域づくり協議会会長

日比野 洋一

新年あけましておめでとうございます。

昨年は、長引くコロナ禍での自粛要請が続き、多くの事業やイベントが中止や縮小を余儀なくされご迷惑をおかけしました。事業中止はとても心苦しく残念でもありました。そうした中、コロナ感染第5波が落ち着いた10月の後半、地域の歴史、文化、自然をテーマにした「雀のお宿・野外音楽祭」を2年ぶりに開催することができたことを嬉しく思います。当日は、絶好の秋日和のもと、中野一宮市長を始め多くの来場者があり、大変盛り上がりました。準備、運営に関わっていただいた多くの皆様に、改めて心より感謝申し上げます。また、新しい企画として、「みんなで描こう、木曾川町の未来予想図！」と題した小中学生による討論会の開催やホームページでのいろいろな情報発信、さらに、公民館活動の講座をYouTubeで配信する取組など、つながりの輪を広げる活動を展開することができました。ICT機器の活用は今後の検討課題だと思えます。



コロナウィルス感染の一日でも早い終息を願いながら、本年も連区町会長協議会や関係諸団体との連携を大切に、“安全・安心で思いやりあふれる町づくり”を目指した諸活動を推進したいと考えています。

皆様の一層のご支援ご協力をお願い申し上げ、新年のご挨拶といたします。

## 「第3回雀のお宿野外音楽祭」開催

活気部会長

平林 哲也

10月24日(日)木曾川町連区地域づくり協議会・イタセンパラ生息地保存会主催の「第3回雀のお宿野外音楽祭」を開催しました。

会場となった「雀のお宿(木曾川緑地)公園」付近は歴史的には北原白秋が名付けた児童養護施設「雀のお宿」のあった場所であり、イタセンパラの生息地・コハクチョウの飛来地で自然の豊かさにもあふれた場所です。こういった歴史や自然に触れてもらうことこそ、この野外音楽祭開催目的です。





昨年はコロナ感染拡大のためやむを得ず中止しました。今年は猛威を振るったコロナ感染第5波も10月に入って急速に落ち着き、絶好の秋晴れのもとで開催することができました。念入りの感染対策をしながら、2年ぶりの開催ができたことは大変うれしく思います。

オープニングは「雀のお宿チンドン隊」の練り歩き。懐かしいチンドン太鼓の音色に、会場の誰もが顔をほころばせました。今回の出演は・・・

- ①THE BISHU JAZZ ORCHESTRA
- ②一宮児童合唱団きそがわKIDS
- ③木曾川ライトソングクラブ
- ④小塚謙一
- ⑤TO BE SURE (出演順)の5団体。

それぞれの演奏ジャンルも異なり、会場に訪れた人々の耳を大いに楽しませてくれました。訪れた子どもたちのためには、演奏の合間に楽しんでもらおうと、雀のお宿の歴史・自然を問題にしたクイズラリーやバルーンアートが用意されました。親子でクイズを解きながら、地域の歴史や自然を学ぶ機会となりました。この日は暑くもなく寒くもない絶好の野外音楽祭日和で、木曾川町連区内外から約600名もの来場者があり、大いに盛り上がりました。

この手づくりの野外音楽祭には、会場設営、音響、駐車場整備や案内、飲料の販売など、運営に関わる実に多くの仕事があります。主催者以外にも、里小牧区町会長会、木曾川緑道を守ろう会、木曾川文化・スポーツクラブ、木曾川文化創造ワークショップなど、たくさんのボランティアの方々に支えていただきました。この場をお借りしてお礼申し上げます。大変ありがとうございました。



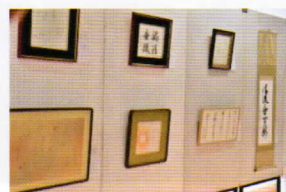
## 第53回木曾川町文化祭が開催されました

木曾川町公民館

昨年はコロナで中止となった木曾川町文化祭が、今年は関係者皆様のご努力により10月30日(土)・31日(日)に木曾川公民館で開催されました。

コロナでクラブとしての活動が制限されたため、出品点数は一昨年より減りましたが、16の団体・個人の方が見ごたえのある作品を展示していただき、大勢の方にご来場いただきました。今年は残念ながら芸能祭は中止せざるを得ませんでした。それに替わってご了解いただいたクラブの練習風景等をビデオで撮影し、これを講堂で映写しましたが、大勢の方に興味深くご鑑賞いただきました。また、その一部をYouTubeでも配信していますので是非ご覧ください。

これからも木曾川町の文化活動のふれあいの場として開催してゆきますので、皆様方のご協力をよろしくお願いいたします。





## 防犯委員会研修会を開催

防犯委員長 宮口 勉

11月6日（土）文化会館にて一宮警察署生活安全課佐藤警部補を講師に「一宮市内の犯罪の実態及び防犯対策」と題し、防犯委員会研修会が開催しました。

まず高齢者を狙った特殊詐欺が多発している事を踏まえ、詐欺の種類について詳しい解説がありました。被害金額は、令和2年度は約5800万円（前年比約3000万円増）で、多発傾向にあります。①オレオレ詐欺 ②架空請求詐欺 ③預貯金詐欺 ④融資保証詐欺 ⑤還付金詐欺と、様々なアプローチです。自分は大丈夫と思っている人が被害に遭うケースが多く、自分ひとりでの対応は危険です。家族等複数人での対応が重要です。

侵入盗を防ぐ安全なまちづくりのためには、犯人が嫌う対策が必要です。↓↓↓逮捕された犯人のアンケートより

- 時間（侵入にかかる時間）
- 光（侵入ルートが明るい）
- 音（歩くと音が出る）
- 地域の目（住民に挨拶等声を掛けられる）

の対策を実践する事が大切です。町内の皆さんが、これらの対応をする事で犯罪の減少が期待されます。一宮警察署では、毎月「パトロール通信」と云う統計データを公表しています。市内の小校区（42校）別に統計されています。木曽川町連区は3小校区共昨年比減少しています。「パトロール通信」は、地域づくり協議会のホームページに掲載されていますので、ご覧頂きたいと思います。質疑応答では、佐藤警部補をお招きし区単独で開催の防犯講習会の開催により区民の防犯意識が向上した事へのお礼、警察によるパトロール活動の強化要請や、子供達を犯罪から守る為の地域活動の在り方についての質問がありました。皆さん方一人ひとりが、町会長、防犯委員を核とした地域防犯活動に取り組んで頂きますようお願いいたします。



## 交通安全会講習会を開催

交通安全会長 宮口 勉

11月20日（土）木曽川町文化会館にて、一宮警察署地域課木曽川幹部交番小堀所長をお迎えして、交通安全講習会を開催しました。講演では2本の動画が放映され詳しい解説がありました。

1本目は今年10月に施行された、自転車のヘルメット着用の効果に関するものでした。ヘルメットに中に入れた卵は割れない実験映像があり、「卵を人の頭に置き換えてください」との説明は、ヘルメット着用の必要性を痛感させられるものでした。ヘルメット着用の努力義務と同時に、自転車の損害賠償保険の加入が義務付けられました。判決では傷害の場合は、数10万円～数100万円の賠償金額が多いようですが、死亡事故では9521万円と云う判決もあるようです。皆さん自転車の損害賠償保険には必ず加入しておきましょう。

2本目は「スマホのながら運転」による死亡事故の被害者遺族が悲惨な現状を訴えるものでした。「ながら運転」はなかなか減少せず、昨年は約3万件の事故が発生しているとの事です。皆さん「スマホのながら運転」は絶対しないようにしましょう。

新年を迎えました。町内の皆さんは交通事故には十分気を付けていただきたいと思います。また、町会長、交通安全推進委員の皆さんは中心となり、町内の交通事故防止への取り組みを強化していただくようお願いいたします。





## 一豊まつりのご案内

木曾川商工会

木曾川商工会では、地域振興事業として郷土が産んだ戦国武将「山内一豊公」の偉功をたたえ「木曾川町一豊まつり」を毎年開催しています。昨年からの新型コロナウイルスという新たな脅威に見舞われ、昨年度の第37回は残念ながら中止とさせていただきましたが、第38回となる本年度は新型コロナウイルスの感染状況やワクチンの接種状況から例年9月に開催しているところを2月の3連休の2月12日（土）に開催いたします。

また本年度は一宮市が市制施行100周年の年でありますので、9月には木曾川資料館でイベントとして「いちのみや市100周年・一豊まつりの歴史」と冠し、館内に一豊まつりの関連の写真、木曾川町の懐かしい写真などを展示し、同時に山内一豊公生誕の地、黒田城跡の御城印を販売し大変好評をいただきました。

2月のメインイベントは黒田小学校をメイン会場として、お子様からお年寄りの方まで幅広い層の方々に楽しんでいただける趣向を凝らしたアトラクションをご用意いたします。最大の呼び物、「一豊パレード」では甲冑を身にまとった一豊公と、豪華絢爛の時代衣装の千代様が戦国武将らとともに大きな隊列を組んでパレードを行います。メイン会場ではタレントや地元関係者による演奏やパフォーマンスが繰り広げられるとともに「戦国千人なべ」なる豚汁のおもてなしや、第38回限定の「黒田城跡の御城印」や「山内一豊公の武将印」の販売も予定しています。

どうぞ、戦国夢浪漫「一豊まつり」に多くの皆様がお越しいただきますよう、心からお待ちいたしております。

